

保護者向け

放課後等デイサービス評価 結果

この度は、お忙しい中保護者向けの事業所評価にご協力くださりありがとうございます。
全家庭からの返答はいただけませんでした。それも評価の一つと受け止めて、集計結果と事業所からの内容のご説明をさせていただきます。

特に、「いいえ」と「どちらとも言えない」の回答が多い箇所を抜粋いたします。
表と合わせて、ご確認ください。

玩具・体制整備

③設備等のバリアフリー化と配慮について・・・いいえ 1

⇒ らせん階段の利用が危ないと思う

- ・ 階段の隙間からは物が落ちてしまう可能性もあり、危険であることはそうだと思います。建物の構造上、時間帯によってはデイサービスの送迎車が1階の玄関前に停車をいたします。併せまして、利用者がエレベーターを使って1階玄関を利用し大変混みあうこととなり、きりんグループが外に出る時間帯と重なり接触の危険も予測されます。そういった理由から、らせん階段を利用しています。子ども達には、手すりをつかまる事と階段途中の追い越しや座り込みなどないように伝え、安全に使えるように関わっています。

保護者への説明等

⑪苦情についての対応の体制整備と周知・説明を含めた対応について・・・

・・・どちらともいえない 4

- ・ 苦情についての第三者委員を設置しています。
周知については、プライベートなこともありますので、すべてをオープンにすることは難しいこともあります。昨年の評価結果は公表をしております。メールや電話を使ってお話を聴くことや、ご希望があれば面談等でゆっくりご説明をさせていただきます。お声掛けください。

⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の配慮について・・・どちらともいえない 2

⇒ 日々の様子は連絡帳に何も情報が記入されていない日が多いので様子がわかりません

- ・ お迎えの際には、慌ただしく同時刻に支度をしますのでゆっくりとお話をする時間が持てないことがあり、お伝えが不十分となりますことをお許しください。また、散歩等に出かけますと連絡帳を記入する時間がないこともあります。活動の内容だけでもお伝えができるように努めますが、直接子どもに関わる支援に重点をおく事で、そのような時間の確保に難しさが生じてしまう事も事実であります。ですが、お子さんの様子ををお伝えする事にもメールの使用等で工夫をしていこうと思います。

⑬会報やホームページ等の整備と情報発信について・・・・・・どちらともいえない 3

- ▶ この評価結果を含め広く情報を発信するために、法人のホームページ内に放課後等デイサービス・きりんグループのページを開設する準備を進めています。整いました時には、改めてお知らせをさせていただきます。

緊急時の対応について

- ▶ 災害等の緊急時には学校に直接お迎えに行ってくださいとなっております。活動時間の災害への対応については、法人の防災委員が定めるところのマニュアルに従って非難・対応いたします。また、防災訓練については館内の合同訓練や学童と合同に訓練をしています。(年に2～3回)
今後は、訓練後に家庭に向けて発信し周知に努めていこうと思います。

満足度

⑭事業所の支援に満足しているか・・・・・・どちらかといえない 2

⇒ 学校休業日の利用を柔軟にして欲しい。運動会の代休の他にも、オープンスクール代休や支援級宿泊学習代休などあり、保育に困る

- ▶ 学校休業日の利用については、運動会だけでなく土曜参観の振替休日についてもできるだけ柔軟に対応できる様努めてまいりましたが、事前のインフォメーションが不足していたことでご不便をおかけいたしました。すべてがお受けできるかはその時々で変わってくるのですが、事前に相談くださるようお願い致します。

前年度も同じ時期に事業所評価をご協力いただきました。その際には、集計結果のみお知らせして出されたご意見にはきちんと返答をしないままでありました。失礼を致しました。

申し訳ありません。

今回は、前回の反省からこのようなかたちで評価の結果とあわせて、ご意見欄についての事業所からの返答をさせていただきます。事業所の自己評価については、職員ミーティングにて意見を取りまとめている所です。ホームページの開設と同時に公表できるように準備をすすめていますので、しばらくお待ちください。

より良い支援や事業所運営に活かしていけますように、取り組んでまいります。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。



保護者向け 放課後等デイサービス評価表 まとめ

2016. 12. 26

放課後等デイサービス・きりんグループ

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	ご意見
玩具・体制整備	①	子どもも活動のスペースが十分に確保されているか	10			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	3		
	③	事業所の設備等はスロープや手すりの配置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9		1	・らせん階段の利用が危ないと思う
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			無回答 1
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいの無い子どもと活動する機会があるか	10			
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	9	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9			無回答 1
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者化同士の連携が支援されているか	9			無回答 1
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	4		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	8	2		・日々の様子は連絡帳に何も情報が記入がない日が多いので様子がわかりません
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3		
⑭	個人情報に十分注意しているか	9	1			
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知説明されているか	7	3		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10			・毎回楽しみに通っている。子どもにとってきりに通うのが当たり前になっている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	7	2		無回答 1 ・学校休業日の利用を柔軟にして欲しい。運動会の代休の他にも、オープンスクール代休や支援級宿泊学習代休などあり、保育に困る。 ・子供が成長していく姿を見て、卒会させたくないと思ってしまう。できる事であれば、中学校へ行ってもきりに通わせたい…。

* 配布 12 回収 10 (回収率は昨年度100%。今年度は、83%)

* 無回答は少なくなっています。が、「どちらとも言えない」「いいえ」の回答が増えています。

* ご意見欄の記載がほぼありませんでした。

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

2016.12～2017.1 実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員配置数は適切であるか	○			12名の利用者に対して4～5名の職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	○			エレベーターと階段の手すりが設置され、車椅子で利用できるトイレが整備されている。
業務 改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			行事毎の振り返りシートが定着している。毎月のミーティングで活動から生活の事まで話し合っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度、今年と同じ時期に実施して、家庭の声を聞きだすように努めている。それをまとめ、家庭に戻し業務の見直しに役立てている。
	⑥	この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今年度中にはホームページを整備する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は受けていない。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			施設の内外で、研修を受講。1年に一度は外部研修の機会確保。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			初回の面談時に(入会に向けた)、これまでの生活や本人の様子について聞き取りとニーズの把握に努めている。見学・相談を随時受けている。
	⑩	子どもの適応行動の把握を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートと、児童票があり、施設内で必要な情報を取得し整理している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員ではないがその活動毎で担当が集まり意見を交わして計画をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			室内・野外・戸外・交流調理等々、様々な活動を用意し、季節や週のバランスで考えている。
	⑬	平日休日長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか			○	毎月のミーティングでは子どもについて話し合う時を持っているが休暇時に特化したものではない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の目標は職員間で周知されているので、集団の中であっても、その課題に向けた関わりをしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			出勤時間がシフト制であるため、毎日のミーティングは持っていないがその日の支援については「今日の予定」にて確認ができる。その中には、個別支

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			援の中のポイントや配慮事項が記載されている。振り返りは一人ずつ日誌に残し、次の日全員が目を通している。
適切な支援の提供	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌記録の時間を一人 10~15 分確保し、その日の一人ひとりの様子を全職員が合分担任して記録している。管理者が確認しまとめている。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			年に一度、確実にやっている
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
	⑪⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか	○			サポートチーム会議やケア会議には管理者だけでなく現場職員も合わせて参加をして状況を伝えている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑪①	学校との情報の共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各小学校の年間計画をデイサービス用にいただく。授業参観や学校行事にも保護者の了解をもらい参加させてもらっている。担当職員との連絡も必要に応じてしている。
	⑪②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか		○		対象児童がいない
	⑪③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			入会前には保護者の了解のもとで現利用施設を見学し本人の様子の把握に努めている。
	⑪④	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容との情報を提供する等しているか		○		まだ、対象児童がいない 次の施設への移行についての情報提供は行っている（見学の付添）
	⑪⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			利用児の状態にいつもと違う事がある（長期間）・環境の変化等が認められる場合は担当 CW と連絡を取り助言を受けている
	⑪⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	○			学童と一緒に遊ぶ機会が多くある（日常の中で共に過ごしている）
	⑪⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		アンケート等の協力は行っている
	⑪⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの状態や発達について共通理解を持っているか	○			迎えの際や連絡帳を使って日々の様子は伝え合うように努めている。
	⑪⑨	保護者の問い応力の向上を図る観点から、保護者に対してのペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		職員が研修を受講はしたものの、保護者に対しての伝達は行っていない。更なる学びが必要だとは思っている。
	⑫⑩	運営規定、支援の内容、利用者負	○			運営規定の説明はしていないが、重要

		担等について丁寧な説明を行っているか			事項説明書にて、契約時にはくわしい説明がされている。
保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個人面談時にはゆっくりと時間をとり話をしている。また、送迎時の会話や連絡帳の記載で気になる事があれば、こちらから声をかけて別室にて話を聴く事も柔軟に対応している
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度、6月に「大人の茶話会」と称した懇談会を開催。保護者会活動は、役員選出については任意としている。※学童と放デイは保護者会を一体的に運営している
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者衣周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決窓口が設置されている。契約時にはその旨説明し周知している。苦情については、連絡帳・口頭等で知らせを受けると、内容を確認し対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	個人情報への配慮をしながら、行事やイベントの様子等は掲示にて知らせている。また、次月の予定についてはメールにて配信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○	徹底はされていない。掲示物の配慮などはさらに工夫の余地がある。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日本語の理解の困難な家庭に対し、お便りにルビをふる等の配慮をしている。また、スケジュールの調整が難しい保護者には一緒に考える事もある。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		クリスマス会に招待をしている。また、ハロウィンには地域の方々に協力してもらいお菓子を頂く。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルはあるが、読み合わせや、検討はしていないので、今後、そういった取り組みを検討中。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○		年に数回、法人全体の訓練に参加している
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止マネージャーの研修に参加者一名。伝達研修を行っている
	④②	どのような場合にやむを得ず身体の拘束を行うについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	対象児童がいない
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	家庭からの伝えは受けている。改めての書類の提出はしていない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		書式とファイルが用意されている。日々の業務日誌の中から月毎にまとめてヒヤリハット集を作成している